



～音楽が紡ぐ“縁”～

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

広島交響楽団第396回定期演奏会 THE 396TH SUBSCRIPTION CONCERT

ヴァイオリン&
コンサートマスター
フォルクハルト・シュトイデ
Violin & Concertmaster
Volkhard Steude



ヴィオラ
安保 恵麻
Viola
Ema Ambo



©井村重人

2020.1.17(金)

18:45開演 [17:45開場]

Friday January 17, 2020 Start 18:45[Open 17:45]

広島文化学園HBGホール

広島市中区加古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

ベートーヴェン：ロマンス第2番へ長調
Beethoven: Romance No.2 in F major Op.50

モーツァルト：ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲変ホ長調
Mozart: Sinfonia Concertante for Violin and Viola in E-flat major K.364

モーツァルト：交響曲第41番ハ長調「ジュピター」
Mozart: Symphony No.41 in C major K.551 "Jupiter"

Concertmaster：佐久間 聡一 Soichi Sakuma


チケット(税込/全席指定)
S席5,200円・A席4,700円・B席4,200円(学生券1,500円)
※学生席は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広警事務局のみで取り扱い)

チケット発売日
一般プレイガイド 2019年11月17日(日)/広警事務局 2019年11月18日(月)

プレイガイド

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド・福屋広島駅前店チケットサロン
広島アーツ楽器・ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場・ローソンチケット(Lコード:62592)
チケットぴあ(Pコード:142-490)・中国新聞社読者広報部・中国新聞販売所(取り寄せ)
広警事務局

主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成/  文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

プレミアム協賛/  ネットワーク中国

後援/広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、
広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

広警公式ホームページ▶
HP: <http://hirokyo.or.jp>




beyond
2020

お問い合わせ ▶ 広警事務局 TEL: 082-532-3080

シュタイデ、ウィーン薫る「ベートーヴェン&モーツァルト」

ウィーン・フィル第一コンサートマスターのフォルクハルト・シュタイデとの「指揮者なし企画」も今回で6回目を迎えます。東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年最初の定期として、またベートーヴェン生誕250周年を迎える新年を「ロマンス」第2番の極上の音色で祝福します。そして、ミュージック・パートナーとしての粋な計らいとして、広響首席ヴィオラ奏者の安部恵麻とモーツァルトの傑作、ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲を演奏するという素敵なプレゼントも。最後はこれまで培ってきた究極アンサンブルによる交響曲演奏としてモーツァルトの最高峰「ジュピター」をお届けします。



ヴァイオリン&コンサートマスター/
フォルクハルト・シュタイデ

Violin & Concertmaster / Volkhard Steude

1971年ライプツィヒ生まれ。5歳より東ドイツ(当時)ブランデンブルク州コトブスの音楽学校でヴァイオリンを学ぶ。1987年に東ドイツのジュニア向けコンクールで第2位獲得。1988年からベルリン・ハンス・アイスラー音楽大学にてヨアヒム・シュルツとヴェルナー・シュルツ教授の下で学び始める。国際コンクールで受賞を重ねる。

1993年にはグスタフ・マラー・ユグントオーケストラの第1コンサートマスターになる。1994年3月にベルリンの大学でディプロム取得の後、ウィーンに移り、アルフレート・シュタル教授の下で更に研鑽を積む。

1994年11月にはウィーン国立歌劇場管弦楽団のコンサートマスターに弱冠23歳で就任。更に2000年からはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターを務めている。

日本にはトヨタ自動車主催による「トヨタ・マスター・プレイヤーズ・ウィーン」のコンサートマスターとしても度々来日しており、多くのファンを獲得している。

また、ウィーン・フィルでは、ジュゼッペ・シノーポリやダニエル・バレンボイムの指揮によりソリストとしても共演しているほか、ヨーロッパと日本で数多くのソロ活動を展開(ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲と三重協奏曲、メンデルスゾーンの前奏曲と二重協奏曲、モーツァルトのヴァイオリン協奏曲イ長調と二長調、シンフォニア・コンチェルタンテ、シベリウスのヴァイオリン協奏曲、チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲など)。その多くが放送用にライブ録音され、またCDとしてリリースされている。

室内楽にも熱心に取り組んでおり、2002年からはウィーン・フィルのメンバーで構成される室内楽アンサンブル、ウィーン・ヴィルトゥオーゼンのコンサートマスターも務める。また同じく2002年にシュタイデ弦楽四重奏団が結成され、ウィーン楽友協会が定期演奏会を開催するほか、ヨーロッパ内及び日本で度々ツアーを行うなど、その活動は非常に注目を集めている。

使用楽器は1718年製のアントニウス・ストラディヴァリウス(ヴィオッティ、ロゼらがかつて所有)で、オーストリア国立銀行より貸与されている。



ヴィオラ/安部 恵麻

Viola / Ema Ambo

4歳よりヴァイオリンを始める。

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て東京藝術大学音楽学部を卒業。高校入学と同時にヴィオラへ転向。卒業時に同声会賞を受賞。1997年、東京文化会館新進音楽家デビューコンサートに出演。

1999年、PMFに合格。PMFでは、首席奏者も務める。その他、宮崎国際音楽祭、アフィニス夏の音楽祭、オホーツク音楽祭in紋別、イタリア・チェルボ国際音楽祭などの音楽祭にも参加。

NHKハイビジョン音楽館などのテレビ、ラジオ番組にも出演。その他、スタジオミュージシャンとしても、多数の楽曲に携わっている。また2009年8月2日、マツダスタジアムで始球式を務めた。

2001年～2005年3月まで東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師を務める。

2005年4月に広島交響楽団首席ヴィオラ奏者に就任。

2017年4月より神奈川フィルハーモニー管弦楽団客演首席ヴィオラ奏者を兼任。

横浜シフォニエッタのシーズンメンバー。

広島交響楽団では、定期演奏会等でソリストも数多く務めている。

これまで、ヴァイオリンを故・鷲見康郎、津田順子の各氏に、ヴィオラを菅沼準二、川崎和憲、小野富士、市坪俊彦、ジャン・シュレムの各氏に、室内楽を北本秀樹、岡山潔、菊田雅治、田中千香士、小林道夫、生沼晴嗣の各氏に師事。

時空を超えて(2)

下野による日本人作曲家の名作と時空を超えたコラボ企画第2弾。伊福部昭は映画ゴジラの音楽を手がけたことで有名ですが、戦前から戦後にかけて日本の音楽史に多大なる影響と功績を残した大作曲家です。今回演奏する「ピアノと管絃楽のための協奏風交響曲」が作曲されたのは1941年、戦時中27歳で結婚した年であり、初期の作品とはいえ、強烈な変拍子のリズムの執拗な反復主題はすでに確固たる作風として定着し、日本の郷愁を帯びたメロディーにも隙がなくその完成度の高さは驚嘆するばかりです。この強靱なピアノ独奏パートを演奏する小山実稚恵は2017年、サントリーホールで下野とこの作品を共演し、聴衆から熱烈な評価を得たことで広響での再演へと繋がりました。

凍える季節、時空を超え、チャイコフスキーと伊福部の心を熱くする演奏にご期待ください。

チャイコフスキー(生誕180年):交響曲第1番短調「冬の日の幻想」
Tchaikovsky: Symphony No.1 in G minor "Winter Daydreams" Op.13

伊福部 昭:ピアノと管絃楽のための協奏風交響曲
Akira Ifukube: Symphony Concertante for Piano and Orchestra



指揮/下野 竜也
Conductor: Tatsuya Shimono

ピアノ/小山 実稚恵
Piano: Michie Koyama

2020.2.21(金)

広島交響楽団
第397回
定期演奏会

広島文化学園HBCホール
18:45開演(17:45開場)

あなただけの
マイシート

2019年度
後期定期会員募集のご案内

定期全3回公演

S席/12,500円 A席/11,500円 B席/10,500円

お申し込みは広響事務局までお電話ください。(受付期間 2019年9月17日～2020年1月16日)